

授業科目名	開講年次	開講学期	講義種類	単位数	担当教員名
乳児保育 I	1	前期	講義	2	神崎 光彦
<p>○授業の到達目標及びテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児保育の意義・目的を理解する。 ・乳児保育の多様な保育現場を理解し、育児担当制について学び、その現状と課題を考えることができる。 ・3歳未満児の発育・発達を踏まえた、基本的な生活習慣の獲得と保育内容を学ぶ。 ・発達に応じた遊びの援助と遊び環境を理解する。 					
<p>○授業の概要</p> <p>乳児保育の意義・目的と歴史的変遷及び育児担当制の役割等について理解し、育児保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について学ぶ。また、3歳未満児保育の内容と基本的な生活習慣の獲得できる運営体制や職員間の連携・協働、職員の資質の向上や専門性の意味を理解する。社会課題でもある子育て支援について保護者や地域の関係機関との連携を学ぶ。発達に応じた遊びの援助と遊びの環境を学ぶ。乳児の健康支援や食育の推進について理解しながら、地産地消の意味も深めながら、災害への備えを学ぶ。</p>					
<p>○授業計画</p> <p>第1回 乳幼児保育の意義・目的と歴史的変遷 育児担当制のねらいと特徴 【事前学修】 保育所保育指針の内容を調べ学習してノートにまとめる。 【事後学修】 保育所の役割を知り考察する。</p> <p>第2回 乳幼児保育及び子育て家庭に対する支援をめぐる社会状況と課題 【事前学修】 養護の意味を想像して、ノートに考察する。 【事後学修】 居住地の子育て支援の具体的事例を理解する。</p> <p>第3回 保育所における乳児保育 基本的な生活習慣獲得のための援助 【事前学修】 保育の計画の意味を理解する。 【事後学修】 養護と教育の一体的展開をノートにまとめる。</p> <p>第4回 保育所以外の児童福祉施設における乳児保育 子ども同士のやり取りの仲立ち 【事前学修】 児童福祉施設について調べ考察する。 【事後学修】 乳児保育の重要性についてノートにまとめる。</p> <p>第5回 家庭的保育・小規模保育園における乳児保育 愛着の形成や日常的な関わり 【事前学修】 少人数のメリットを具体的にノートにまとめる。 【事後学修】 小規模保育園の必要性を考察する。</p> <p>第6回 3歳未満児とその家庭を取り巻く環境と子育て支援の場 基本的な生活習慣の獲得と遊び</p>					

【事前学修】 子育ての孤立は、何故起こるのかをノートに具体的にまとめる。

【事後学修】 3歳未満児の保育の課題を考察する。

第7回 3歳未満児の生活と環境 発達に応じた遊びの援助と遊び環境

【事前学修】 基本的な生活習慣について、課題をノートにまとめる。

【事後学修】 危険が伴う具体的な環境を想像して考察する。

第8回 3歳未満児の遊びと環境 室内の環境構成と遊びの援助

【事前学修】 0歳児の好きな絵本を調べ、その理由をノートにまとめる。

【事後学修】 0歳児の好きな遊びを3つあげて、その理由を考察する。

第9回 3歳以上児の保育に移行する時期の保育 3歳以降の保育への移行の見通し

【事前学修】 2歳の月例の違いによる幼児クラスへの準備行為・行動をノートに具体的にまとめる。

【事後学修】 3歳児の課題を調べ考察する。

第10回 3歳未満児の発育・発達をふまえた保育者によるかかわり 日課と保育者の役割分担

【事前学修】 ハイレンリッヒの法則について、調べノートにまとめる。

【事後学修】 保育生活の中の危険について考察する。

第11回 3歳未満児の発育・発達をふまえた保育における配慮 年齢に応じた環境構成

【事前学修】 安心・安全のために必要な保育環境を3つ具体的にあげて、ノートにまとめる。

【事後学修】 発達の個性に対する配慮について考察する。

第12回 乳児保育の計画・記録・評価とその意義 年齢の発達の特性 運動面 認知面

【事前学修】 0歳・1歳・2歳のエピソードを想像してノートにまとめる。

【事後学修】 記録からみる各年齢の洞察と着眼を理解する。

第13回 職員間の連携・協働 保育者のフォーメーション

【事前学修】 育児担当制の進め方の課題をイメージしてノートにまとめる。

【事後学修】 保育士の専門性のキーワードを5つあげて考察する。

第14回 保護者との連携・協働 育児担当制の実際の進め方

【事前学修】 信頼関係の築き方を具体的に考え、ノートにまとめる。

【事後学修】 協働の必要性を理解し、考察する。

第15回 自治体や地域の関係機関などとの連携・協働 地域への子育て支援 一時預かり保育

【事前学修】 配慮を要する園児が療育に通うための施設について、調べノートにまとめる。

【事後学修】 児童発達支援センターでの療育の方法を具体的に考察する。

定期試験 (定期試験は講義内容に含まない)

○テキスト

『育児担当制による乳児保育 子どもの育ちを支える保育実践』西村真実著 中央法規

○参考書・参考資料等

『保育所保育指針解説』(最新版)厚生労働省 フレーベル館

『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』(最新版)内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館

○学生に対する評価

試験 60% 授業態度(意欲) 15% 発表力 15% 提出物(授業ノート含む) 10%